

SDGs 3の項目



意味

2030年までに、エイズ、結核、マラリア、及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。2030年までに、非感染性疾病による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1に減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

みんなが健康で長生きできるために

世界では、5歳になる前に命を落としてしまう赤ちゃんや子供が1年間に約520万人もいます。アフリカのサハラより南の地方では、13人に1人の子供が、5歳未満でなくなっていて、オーストラリア、ニュージーランド地域の264人に1人と比べて20倍も高い割合です。これらの地域では妊娠中や出産するときになくなるお母さんも多くいます。

さい
5歳になる前に亡くなる子どもの数

520万人
(2019年)

6秒に1人の
子どもが
亡くなる



予防と治療の大切さ

世界には感染すると命の危険がある病気でも、結核、ポリオのようにワクチンで防げる感染症も多くあります。マラリアやエイズ（HIV感染症）も予防を知っていれば、防ぐことができます。感染する人は減っていますが、まだ命を落とす人が多くいるのが現実です。

感染症の種類

マラリアとは、マラリア原虫をもった蚊□ に刺されること感染する病気です。

ポリオ（急性灰白髄炎）は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する疾病です。

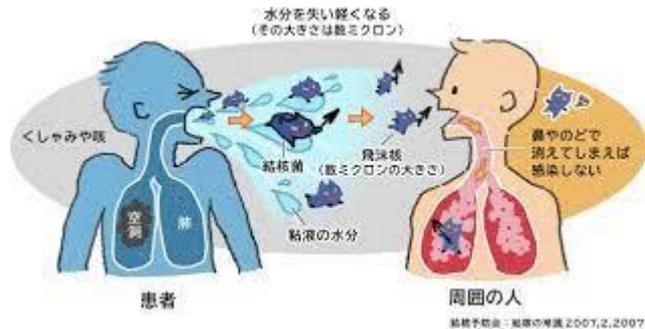


図3 ポリオの感染経路



国立感染症研究所・ポリオワクチンに関するファクトシート（平成29年7月7日版）を元に作成
http://www.nihw.go.jp/gt12/shing3/2/9552000000e*23-01/2/8853000000by04.pdf
(2017年4月24日閲覧)

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。



エイズはHIV（ヒト免疫不全ウイルス）によって引き起こされる感染症で、体を病気から守っている免疫力を破壊してしまう病気です。



十分な医療が受けられるために

福祉とは、最低限の幸せな生活を送るために社会が援助するサービスのこと。教育、文化、医療、労働、など幅広い分野にわたります。

日本では病院にかかるときに使う「健康保険」も、福祉サービスのひとつです。

私たちにできること

1, 手洗い・うがい

他の人にうつすのを防ぐことになります。

2, インフルエンザのワクチン接種

自分が感染しないことで、流行をおさえる

ことになるのです。

母子健康手帳

日本発で世界で注目されているものに「母子健康手帳」があります。お母さんが妊娠すると渡される手帳で、妊娠中や生まれてからの成長、予防接種などを記録します。子供の健康や発達・成長に関する情報も読むことができ、お母さんと子供の健康を守るのにとっても役立つ手帳です。

皆さんにしてほしいこと

自分の母子健康手帳を見返して、元気に成長するためには、どんなことが大切か、予防接種にはどんなものがあるのか、確認してみるのもおすすめです。この他にも、みんなが健康にいるためにもどんな知識が必要で、どんなことをすればよいのか、考えて見ると良いですね。

引用

Edu Townガイド

SDGs目標3：すべての人に健康と福祉を

